

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくらう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう

2024~2025年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2024.7~2025.6

会長(理事)	高橋 茂樹
副会長(理事)	橋田 歳行
幹事(理事)	本川 太郎
副幹事	堀安 孝
会計	原田 稜
S.A.A.(理事)	吉難 佳
副S.A.A.	波 人那

会員増強・退会防止(理事)	中 山 賢太郎
広報(理事)	宮 井 宏
奉仕プロジェクト(理事)	永 山 雅幸
ロータリー財団(理事)	馬 場 幸宏
親睦活動	正 保 三倫
プログラム	廣 野 景達
直前会長	岸 本 浩
次期会長	高 嶋

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「イニシエーションスピーチ」

米山奨学生 チョウン ヒエン ヴーン 様

次回11月12日のプログラム

「クラブフォーラム(R財団)」

11月のお祝い行事

会員誕生日：中山、高取君

結婚記念日：鴻上、宮武、永山、大塚、關君、坪井君

前回10月22日の例会記録

出席の状況

会員数 53名 (出席免除者0名)

出席者数 34名

欠席者数 19名

出席率 64.15%



高橋会長と高木様

スケジュール

11月 ロータリー財団月間

5日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

12日(火) 12:30~例会：クラブフォーラム(R財団)
13:40~第5回理事役員会

19日(火) 12:30~例会

26日(火) 12:30~例会

12月 疾病予防と治療月間

3日(火) 12:30~例会：クラブ年次総会
13:40~第6回理事役員会

10日(火) 12:30~例会

17日(火) 例会変更→22日

22日(日) ○：○~クリスマス家族夜間例会

24日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

31日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)

本日のメニュー：和食

次回のメニュー：洋食

会長挨拶



二週間振りの例会です。

本日卓話は、株式会社コネクシーの高木社長。私も倉敷市で障がい者支援の会社をしていますので、大変楽しみにしています。どうぞ宜しくお願い致します。

季節は秋ですね。私たちが子供のころは、9月～11月が秋という事で、大変気候が良い時期だったのですが、今はほんの一瞬。この短い秋を楽しんでいきましょう。私が今住んでいる大井、足守地区。この日曜日に、「足守メロン祭り」があり、

家から歩いていって見たのですが、ものすごい人でした。おみず園と足守小学校の間の道に人があふれていました。皆、秋を楽しみに来ていたのでしょう。

前回のガバナー公式訪問例会の前に行われたガバナーと会長・幹事懇談会の報告をさせていただきます。私の所信にも含まれる事もありますので皆さんに再確認をお願いになろうかと思えます。

- ・会員拡大
- ・マイロータリーへの登録
- ・ロータリーカード
- ・地区補助金事業
- ・変革（若手がチャレンジできる）
- ・SNSでの公共イメージの向上

来週は指名委員会があります。岡山北RCも次次年度が動き出します。本年度、次年度、次次年度と重なってきますが皆で最善を尽くしていきましょう。何よりも仲間との経験が重要です。



幹事報告

幹事報告

1. 来週10月29日例会終了後、指名委員会がございますので、関係の皆様お忘れのないようお願いいたします。
2. IMのチラシを配布しております。
3. ハイライトよねやま Vol.295、コーディネーターNEWS11月号、他クラブ週報を回覧いたします。



出席報告

S.A.A.

高橋君：(株)コネクシー高木社長の卓話楽しみにしています。

本日も宜しくお願い致します。

牧本君：高木様、ようこそ岡山北RCへ、卓話たのしみにしています。

堀川君：結婚記念日のお花をありがとうございますございました。

会社へ飾らせて頂きました。

廣野君：コネクシー高木様、本日はありがとうございます。

本日の卓話は、まさに、米林会員の名俳句

「よきことを せむと集えば 山笑う」

の取り組みのお話です。

よろしくお祈りします。

米林君：高木講師の来訪に感謝！

高島君：高木様、本日のお話楽しみにしております。

吉田君：結婚記念日のお花ありがとうございますございました。毎年、帰る時に家の玄関でハッとしてます!! (笑)



スマイル報告



オンライン出席の皆さま

卓話

「シェアリングエコノミーによる、障害児・者の外出支援と実績と展望」

(株)Cone.xi (コネクシー) 代表取締役 高木 大地 様



訪問看護師として医療業務に従事する中で、サッカー好きの難病の患者さんに車椅子でのサッカーを体験させてあげることができ、その笑顔と喜びの声を聴くことをきっかけに、「障害児・障害者に外出の機会を」と27歳で起業。その足跡と共に、「誰一人取り残されない世界」を目指しての活動のお話いただきました。



まさに「よきことをせむ」の取り組みのお話でした。 (廣野 記)

誰でも、「気軽に」外出ができるおかやま県

シェアリングエコノミーによる、 障害児・者の外出支援と実績と展望

株式会社CONE・XI
代表取締役 高木大地

高木 大地 Daichi Takagi

元看護師です。

経歴

- 2012年 - 急性期病院 手術室
- 2014年 - 呼吸器内科 呼吸療法士取得
- 2016年 - 日帰り手術専門クリニック
- 2017年 - 起業
- 2020年 - 訪問看護事務所を運営(2023年譲渡)

会社名
株式会社 CONE・XI (コネクシー)

事業概要
看護師に特化したスポットバイトサービス「CHOKOWAI(チョコウ)」、
外出支援サービス「DOKO(ドコ)ドコイ」

表彰歴
岡山イノベーションコンテスト ファイナリスト
OKAYAMA STARTUP AWARD 2022 一般部門グランプリ (CHOKOWAI)

現在
本社：岡山県岡山市 全国各地で現在350事業所に導入
看護師ユーザー数は3800名が登録

原体験

「行けないから、諦める・・・」
0→1の「壁」を突破したい。

訪問看護師時代の担当利用者の趣味はサッカー。
徐々に身体が不自由になる病気で、諦める結果に。

もう一度、「車椅子サッカーをしてみよう」と外に連れ出した結果、その時の笑顔に感動した事が原体験となり、その後の外出支援の原動力となっています

「すべてのひとに移動の可能性を」
2022年～ トヨタ・モビリティ基金に採択

Make a Move PROJECT
「誰もが自由に移動できる社会の実現を目指すプロジェクト」

Mobility for ALL

移動の可能性を、すべての人に。

**phase1 医療依存度の高い車椅子ユーザーでも
看護師がいることで外出支援が可能かを証明**

4事業者の連携
yell nnsエール
アムール
ココロ対心

総勢

9名 (看護師) + 13名 (車椅子(押込車2名含む)) = 22名

15名 (車椅子) + 5名 (車椅子) + 15名 (ドライバー) = 35名

57名 移動支援
送迎車輛15台

phase2のテーマ 他県でも同様な外出支援が可能かを証明

ファジアーノ岡山 18名

トライフー岡山 16名

介護施設研修岡山 6名

プロ野球東京 10名

外食支援橋本 12名

本番実証橋本 61名

累計44名 (車椅子(認知症者・聴覚障害者含む)) + 累計11名 (車椅子) + 累計15名 (車椅子+ドライバー) = **累計53名**

累計123名 移動支援

phase3のテーマ「持続可能性」

社員研修+外出支援

冠スポンサー外出支援：岡山トヨタ自動車 株式会社

phase3 企業との連携

遊覧船+クルーズ体験 (おかやま旭川遊覧クルーズ)
乗船費用を特別に割引にいただき、利用者様の金銭負担減、外出意欲増
協力企業：遊覧船クルーズ、株式会社 ビザビ

phase3 企業との連携

福祉車輛を利用しての外出支援
 身体障害、医療的ケア児4名+家族+医療関係者 総勢10名で白石島へ。
 ユニバーサルビーチを体験。
 冠スポンサー外出支援：株式会社アールケア



phase3 企業との連携

JRに乗って、USJへ。
 医療的ケア児3名+家族 総勢18名での大移動。
 冠スポンサー外出支援：有限会社 尾田燃料店、有限会社 てんとうむし



約250名の外出支援を実現してきました。



持続可能な外出支援

究極の目標：誰の支援も無く、自ら外出し、地域経済の活性化に繋がること。

①関係人口を増やすには

- ・地域企業の社員とユニバーサルツーリズムを考える。
- ・地域企業の社員が障がい児者(当事者)のことを知る

②まちが、ユニバーサルな視点で変わっていくには

- ・障がい児者の潜在市場規模の証明
- ・障がい児者が外出することで地域にどのような経済効果

③学生との共同プロジェクト

ユニバーサルツーリズム研究会 (2024年9月26日 第3回)

おかやま観光コンベンション協会
 岡山城のフィールドワーク
 当事者が、岡山城まで辿り着くには？
 当事者と一緒に考え、体験する。

「エレベーターをつけて欲しい」
 ↓
 「お姫様気分でイケメンの男子学生に運んでもらおう？」



ユニバーサルツーリズム研究会 コアメンバー

	両備ツアーズ	中原伸介氏
	岡山県観光連盟	池田隆文氏
	岡山県旅行業協会	田中雅彦氏
	おかやま観光コンベンション協会	青山昌史氏

会長 土江 富雄氏



adv 高岡先生

ユニバーサルツーリズム研究会 今後の議題

- 車椅子でのスポーツ観戦 会場フィールドワーク
- 車椅子旅行者による経済効果、市場規模
- ユニバーサルツーリズムセンター
- 障がい児者の観光誘客の方法と効果(他市他県の先行事例など)
- うらじゃ 車イス踊り連を起ち上げる方法、対策
- 交通弱者への取り組み(仕組み、デマンドバス、デマンドタクシー、最新モビリティの紹介、体験など)
- 民間救急による外出支援の実際
- 介護事業者が行う外出支援の実際と限界

現状のアクション

岡山企業×学生「ユニバーサル外出支援プログラム」がスタート

- ・岡山企業と、学生(大学)との交流・採用
- ・大阪万博への外出支援プロジェクト
- ・蒜山雪恋祭りへの外出支援プロジェクト
- ・苫田温泉への外出支援プロジェクト

上記以外でも冠スポンサーを募集しています。

誰一人取り残されない世界

ユニバーサルツーリズム研究会で課題を共有し、みんなで考え、形にしていきたいと考えています。



第4回ユニバーサルツーリズム研究会のお申込みはコチラ→




画伯 米林 真 氏